



①映像で市の「10周年のあゆみ」を振り返る ②「岩国市歌」を披露するIJC岩国市ジュニア合唱団 ③文化芸術都市宣言を行う福田市長 ④市民憲章唱和 ⑤式典前日に記念講演を行った広中平祐氏 ⑥「ふるさと岩国への思い」を語る澄川喜一氏 ⑦クリエイティブ・トーク



8市町村が合併し、新しい岩国市が誕生して10年を迎えることを記念し、3月19日に「岩国市新市誕生10周年記念式典」が市民会館で行われました。

新市が誕生した日と同じ、平成18年3月20日生まれの小学生2人を中心とした市民憲章の唱和が行われた後、記念映像「10年のあゆみ」でこれまでを振り返りました。また「ふるさと岩国への思い」と題して名誉市民の広中平祐氏、澄川喜一氏から岩国への思いが語られました。

岩国市新市誕生10周年記念式典

その後、活力と魅力あふれる岩国市の実現に向けて文化芸術創造都市宣言が行われ、新しく制作された「岩国市歌」がIJC岩国市ジュニア合唱団の皆さんにより披露されました。

式典後は澄川喜一氏、市歌作詞者の村田さち子氏らが岩国への思いや期待などを語り合うクリエイティブ・トークも行われ、参加者は文化芸術によるまちづくりの決意を新たにしました。

閩総務課 ☎295024
文化振興課 ☎295211

心を一つにこれからの10年へ

市政 PICK-UP



多くの人に愛される施設に

3月24日、国の天然記念物「岩国のシロヘビ」について紹介する学習施設「岩国シロヘビの館」が開館しました。

竣工式には関係者約80人が出席し、福田良彦市長が「貴重な文化財であり、また観光資源の役割も担うシロヘビの保護、保存に今後とも取り組み、多くの人に愛される施設にしていきたい」とあいさつしました。

施設は横山のシロヘビ観覧所跡地に建設され、シロヘビが生



▲シロヘビの館の完成をテープカットで祝う

岩国シロヘビの館 開館

息していたとされる江戸時代の米蔵をイメージした外観となっています。

館内には、生きているシロヘビの展示のほか、クイズやゲームを通してシロヘビの生態・体の構造について学べるコーナー、シロヘビにまつわる伝承を資料やパネル、映像で紹介するコーナーなど、幅広い世代の来館者が楽しみながら学べる展示が用意されています。

図文化財保護課 ☎0452



▲シロヘビの歴史や生態などを楽しく学べるコーナーが盛りだくさん

3月27日、岩国錦帯橋空港で、沖縄(那覇)線の新規就航と東京(羽田)線の増便記念セレモニーが行われました。

福田良彦市長が「沖縄と観光や経済、文化などの面で交流を進めていくほか、那覇空港の物流ハブ拠点の機能を活用し、波及効果を広めたい」とあいさつし、テープカットで新規就航・増便を祝いました。琉球國祭り太鼓のメンバーによる沖縄の伝統芸能エイサーの披露も行われ、会場を盛り上げました。

岩国錦帯橋空港 沖縄線新規就航・羽田線増便記念セレモニー

満席となった沖縄線初便は式典後の午前11時に出発し、空港の展望デッキは見送りをする多くの人でにぎわっていました。

当日の沖縄線搭乗者には赤瓦コースター、羽田線の搭乗者には宇野千代ハンカチなどの記念品が配布されました。那覇空港では、ミス岩国とミス沖縄、沖縄観光コンベンションビューローのキャラクターによる沖縄便搭乗者のお出迎え、岩国便初搭乗者のお見送りが行われました。

図空港利用促進室 ☎295010



▲会場を盛り上げた沖縄の伝統芸能エイサー披露

新たな空路 いよいよ就航



▲ミス岩国による沖縄線搭乗者への記念品配布